

第一回國會議院運輸及び交通委員會會議錄第三十四号

昭和二十二年十一月八日(土曜日) 午前十一時三分開議

出席委員

- 委員長 正木 清君
- 委員 高瀬 傳君 田中 宗義君
- 委員 前田 郁君
- 委員 井谷 正吉君 佐々木三三君
- 委員 島上善五郎君 館 俊三君
- 委員 原 彪君 矢野 政男君
- 委員 田村 虎一君 高橋 英吉君
- 委員 飯田 義茂君 湯木下 榮君
- 委員 前田 正男君 成重 光眞君

出席政府委員

- 運輸事務官 加賀山之雄君
- 運輸事務官 秋山 龍君
- 運輸事務官 柳野 基秀君
- 運輸技官 岡田 信次君

委員外の出席者

- 議員山口 好一君 議員松浦 東介君
- 議員長野 長廣君 議員村上 勇君
- 運輸事務官 石井 昭正君
- 運輸事務官 川村 二郎君
- 専門調査員 岩村 勝君
- 専門調査員 堤 成威君

十一月六日委員中野武雄君辭任につき、その補調として同日内海安吉君が議長の指名で委員に選任された。

本日の會議に付した事件

- 一 實積寺、市橋間鐵道敷設の請願
- 二 (山口好一君外一名紹介)(第四號)
- 三 戦時中強制買上の建物等を賣所 有者に優先拂下の請願(山口好一君紹介)(第五號)
- 三 黒松内、靜岡省營バス並びに トラック運輸開始の請願(小川原

政信君紹介(第一三號)

四 井野信號所を一般線に變更の請願(小峯柳太君紹介)(第二三號)

五 各縣縣會議員にその縣内無賃乗車券交付の請願(山口好一君外三名紹介)(第二四號)

六 海運國家管理法制定に關する請願(正木清君紹介)(第二七號)

七 埴野、川棚間國營バス運輸開始の請願(西村久之君紹介)(第二九號)

八 柳井驛より三路線に、及び田布施驛より二路線に省營バス運輸開始の請願(中嶋勝一君紹介)(第三一號)

九 沼宮内驛改築促進の請願(山本猛夫君紹介)(第三二號)

一〇 葛巻、夫落合並びに沼宮内、盛岡間省營バス運輸開始促進の請願(山本猛夫君紹介)(第三三號)

一一 御堂信號所を一般線に昇格の請願(山本猛夫君紹介)(第三四號)

一二 長岡鐵道買収に關する請願(清澤俊英君外三名紹介)(第四九號)

一三 古種、上札鶴間鐵道敷設の請願(飯田義茂君紹介)(第五一號)

一四 大畑、大間間鐵道速成の請願(山崎岩男君外二名紹介)(第五三號)

一五 副知山、舞鶴間並びに副知山、宮津間國營バス運輸開始の請願(大石ヨシシ君紹介)(第五七號)

一六 八吉市より三路線に國營バス運輸開始の請願(副永一巨君紹介)

(第五九號)

一七 要田村に停車場設置の請願(山下春江君紹介)(第六三號)

一八 鐵道運賃値上を國會に付議その他に關する請願(相馬助治君紹介)(第六四號)

一九 濱田、今福間鐵道速成の請願(木村小左衛門君外三名紹介)(第六五號)

二〇 南廣信號所を一般線に昇格の請願(世耕弘一君紹介)(第六七號)

二一 三國線を三國港まで運輸延長の請願(坪川信三君紹介)(第七四號)

二二 武生、上池田間國營トラック運輸開始の請願(坪川信三君紹介)(第七八號)

二三 村崎野信號所を一般線に昇格の請願(高田彌市君外三名紹介)(第八一號)

二四 大野、白鳥間國營自動車運輸開始の請願(長谷川政友君外一名紹介)(第八四號)

二五 高知縣下における三路線に國營バス運輸開始の請願(長野長廣君紹介)(第九三號)

二六 浦幌、本別間國營バス運輸開始の請願(森三樹二君紹介)(第九八號)

二七 稻荷山、姚捨兩驛間に停車場設置促進の請願(坂東幸太郎君紹介)(第一一八號)

二八 古江、佐多間、大根占、田代間及び鹿屋、大根占間に國營自動車運輸開始の請願(前田郁君紹介)(第一一九號)

二九 岩川、古江間國營バス運輸開始の請願(前田郁君紹介)(第一四一號)

三〇 鹿屋、岸良間國營バス運輸開始の請願(前田郁君紹介)(第一四七號)

三一 稚内驛から秋海驛の間に鐵道連絡工事施行の請願(坂東幸太郎君紹介)(第一四八號)

三二 貝田信號所を一般線に昇格の請願(庄司一郎君紹介)(第一五七號)

三三 川棚、有田間國營バス運輸開始の請願(西村久之君外一名紹介)(第一五八號)

三四 湯本、石川間國營バス運輸開始の請願(關内正一君紹介)(第一六五號)

三五 白石、上ノ山國營バス運輸開始の請願(庄司一郎君外十名紹介)(第一七二號)

三六 高瀬村に停車場設置の請願(松浦東介君紹介)(第一七三號)

三七 山陰線經由東京下關間直通列車運轉の請願(庄司彦男君外三名紹介)(第一九〇號)

三八 新庄より金山、眞室山、酒田、餘目、清川、八向を経て新庄に通過する國營トラック運輸開始の請願(岡司安正君紹介)(第二〇〇號)

三九 久栗坂に停車場設置の請願(山崎岩男君紹介)(第二〇七號)

四〇 木原線全通工事施行促進の請願(片岡伊三郎君紹介)(第二二七號)

四一 善島見臨港鐵道外三鐵道拂下に關する請願(金光義邦君外二名紹介)(第二三〇號)

四二 大垣、垂井兩驛間に簡易停車場設置の請願(武藤嘉一君紹介)(第二三七號)

四三 日本通運株式會社の現業を解放の上舊關係業者にその營業權並びに設備返還の請願(山崎岩男君紹介)(第二四七號)

四四 宇和より三瓶を経て八幡濱に至る間に國營バス運輸開始の請願(高橋英吉君外八名紹介)(第二五二號)

四五 九州、四國間連絡國營航路開設の請願(高橋英吉君外十三名紹介)(第二五三號)

四六 常呂、中佐呂間鐵道速成の請願(飯田義茂君紹介)(第二六〇號)

四七 八幡濱から三路線に國營バス運輸開始の請願(高橋英吉君外八名紹介)(第二六一號)

四八 九州、四國間連絡國營航路開設の請願(井谷正吉君外八名紹介)(第二九七號)

四九 九州、四國間連絡國營航路開設の請願(村上勇君外六名紹介)(第四〇九號)

五〇 四國循環鐵道の全通並びに九州、四國間連絡國營航路開設の請願(井谷正吉君外二名紹介)(第八一六號)

委員派遣承認申請の件

○正木委員長 會議を開きます。これより過日日本員會に付託になり

寶積寺からの戦時中敷設いたしました
専用路線を利用してやつたらどうかと
いう御意見でございますが、この線路
は目下のところ占領軍の管理に属して
おりまして、私どももいたしましては、
これを寶積寺、市橋間線道に使う使わ
ないは別といたしまして、ほかにぜひ
使いたいというので、いろいろ努力
しておるのですが、未だ今日ま
でその目的を達し得ないのでありま
す。目下のところ手がつけられないと
いうような情勢にも相なつておりま
す。先ほど来申し上げましたように、
今日の資材の状況その他では急速にこ
の鐵道を敷設することができないとい
うことは、はなはだ遺憾に存してお
る次第でございます。

○山口好一君 たいだいまのお答え一應
ごもつとも思ふのであります。が、
しからば栃木縣におきます本年度の
計畫にはいつておられますか、どうい
うものでありましようか、御發表を願
いたい。

○岡田(信)政府委員 栃木縣に本年度
といたしまして新しく線路を建設する
のは一つもないのであります。

○山口好一君 そういふことでありま
すれば、請願者としてできるだけこの
栃木縣の、こういった食糧方面から見
まして、非常に必要なところの土地が
顧みられないのであります。特に
注意してもらひまして、そうして少
とも來年度には計畫の中にぜひとも入
れてもらわなければならぬと考ふる
のであります。

○岡田(信)政府委員 私が申し上げま
したのは、今日の情勢で早急に實施が
できぬということを示したものであ
ります。これらの鐵道の必要性につ

きましては、十分承知いたしておりま
すので、これが調査なり、あるいは計
畫設計はすでにやつておきまして、時
機を得ましたならば、速やかにやりた
いという準備萬端整えておる次第であ
ります。

○加賀山政府委員 第三番目の問題に
對してお答え申し上げます。縣會議員
各位にバスを發行したらどうかとい
う御請願でございます。仕事の重要な
ところにつきましては申すまでもないこと
でございますが、實を申し上げますと、現在
におきまして發行してあります。バ
スが、相當數に上つております。こ
れを仕事の重要性に應じてどこまで
延ばすか。これは非常に問題になると
ころだろふと思ふのであります。従來
運輸省といつたしましては、できるだけ
制限主義をとつてまいつておるのであ
ります。最近獨立採算制の問題などが
言われてまいります場合には、特に
この問題は非常にデリケートな問題と
して考へなければならぬのでありま
す。御便宜をはかりたい、しかしバ
スはたくさん出せぬといふような非
常にジレンマに陥るわけでありま
す。本問題に關しましては、そういう見地
から、バスの發行といふことは、た
だいま考へておられないのでござい
ます。むしろわれ／＼としては、消極的
に考へておるわけでございます。ただ
われ／＼がたゞいま努力いたしてお
りますことは、戦時中、あるいは終戦後、
特に昨年の冬のごとく、非常に旅客輸
送の制限をいたさなければならぬとい
ふような場合には、必要な御旅行を、
ついで乗車券購入ができないために、抑
えなければならぬといふような事態
が起きてはたいへんである。かような

見地から、重要旅行を確保するために
は、どうしても旅客列車の數をある程
度、最低限度確保しなければならぬ
といふ。これは石炭の生産を見合ひになつ
ておるわけでございます。石炭の割
當がどうしても確保されなければ、旅
客列車のわれ／＼の考へておきます
最小限度の確保も、むづかしいので
ございまして、この點を皆様方の
御努力、御盡力を得まして、何として
も確保いたしまして、旅客列車は最低
限度を確保する。それによつて乗車券
が自由に買えるようにするということ
が、われ／＼の第一に考へております
点でございまして、現状を申し上げます
と、急行列車を除きましては全部自由
發賣の態勢をとつておきまして、各地
方の交通についてはたゞいまのこと
としては、御旅行に御不便をかけてい
ない。乗車券購入の面からはかけてい
ない。もちろん回数が少い關係で、非
常にこんだりいたしておりますので、
この面からは非常な御不自由をおかけ
しておりますが、さような状態なので
ございまして。

もう一つ、これはたゞいま申し上げ
る城にはいつておりませんが、われ
われといたしましては選挙のときにと
りましたような手段、つまり一定區間
を自由に乘れるような現在の定期券
は一定の駅から一定の駅ということ
になつておりますが、ある地域を自由
に乘れるようなバス、これを有料で考案
してみたらどうかといふようなこと
も、より／＼研究いたしておる次第で
ございまして。まだこれは具體的にこ
うしたらいいという結論に到達してお
りませんが、そういうようなことも考へ

ておるといふことも申し上げておきた
いと思ひます。この問題に關してはた
いへん遺憾でございますが、運輸當局
としては消極的に考へておるといふ
うに御承知を願ひたいと思ひます。

○山口好一君 たいだいまの御意見は、
一應の御意見としては承で承るので
あります。それでは現在の運輸省關係
の従業員の無賃乗車の件については、
どういふ現状になつておるかと。また
それをどう考へておられるか。御質問
いたします。

○加賀山政府委員 バスの問題につ
いては、實を申し上げますと私はその責任者
でございまして、こまかなことを
申し上げかねるのでございまして、詳
細につきましては、その責任者から御
説明なりお答え申し上げます。とい
まして、たゞいま職員に對して發行
いたしておりますものは、通勤バスと、
非常に精動した者に月に何回といふ
うに發行いたしております通勤バス、
そのほか公務上旅行いたします者に
對して發行しております公務バスと、
もう一つはその家族に出してあります
家族バスと、大體において四通りで
ございまして。そのうち最後の家族バスに
至りましては、戦時中、あるいは旅客
運送の非常に窮乏になつてきました時
期から極度に制限いたしておりました。
それから通勤バスのごときも職員が
どうしても行かなければならぬとい
う事情がある場合は、極力制限的
に出してあります。たゞいま職員が主
として利用しておりますのは、通勤バ
スが一番大きな問題であるような状態
であります。このバスの問題はいつ
もわれ／＼運賃制度と結びつきまして天
下から御批判を仰いでおるのでありま

して、われ／＼は先ほど申し上げまし
たような一般の部外の方々のバスの問
題と併せて、あるいはこれ以上に職員
のバスの問題につきましては、今後と
も自肅いたしまして、できるだけこれ
を必要な最小限度に詰めていくとい
う方策をとつていかなければならぬ
のと考へておる次第であります。

○山口好一君 たいだいまの説明である
程度わかりませんが、しからばやはり縣
會議員の無賃乗車券は、鐵道事業に關
係してあります職員、その他の人以上
にこれを利用すべき必要性があるとい
言えるのでありまして、むしろこの方
を制限しておるといふならば、先ほど
いふ／＼な考案もあつたようでありま
すが、一歩進んで無賃乗車券を發行し
てくださるというふうにもつていた
きたいと切望する次第であります。

○正木委員長 本請願に對して他に質
疑はありませんか。

○成重委員 當局にお尋ねいたしま
すが、今請願の出しております縣會議員の
無賃乗車券の件については、私職も漏
らしましたが、旅客緩和のためにでき
ないといふのか、それともどういふ趣
旨ですか、もう一度その點を御説明願
つて質問いたしたいと思います。

○加賀山政府委員 言葉が足りなくて
たいへん恐縮でございますが、われ
れといたしましてはたゞ緩和のために
といふことではなくて、バスを重要
な公務についておられる方に出そう
といふことは、根本の問題といたしま
して非常に私どもは結構なことだと考
へます。考へます。その限度をどこまで
もつていくかといふことが第一の
先決条件だろふと思ひます。何が重要
だ、何が重要だと言ひ出しますと、ど

こまでもとめどがなくなくなるのがほとんど
 うの問題じゃないかと考えるわけでは
 ります。従つて運輸省といたしまし
 は、バスの発行は現狀程度に止めてお
 く、むしろこれを縮小していくという
 方向にもつていくのがほんとうではな
 いかと考へておるわけでありまして、
 現在以上に擴張いたしますことはでき
 ないだけである。と申します
 ことは、これは私の任務の範囲外であ
 りますので、少し商賣氣が出過ぎるか
 もしれませんけれども、たゞいま獨立
 採算制ということが非常に言われてお
 りまして、特別會計は特別會計の中で
 赤字を出さないようにしなければなら
 ない。そうしますと、この重要な事柄
 に對して、特別會計の負擔になること
 を澤山やるのでは、企業の獨立採算制
 はどうしても立ち得ないのでございま
 す。たとへば社會政策に行います運賃
 の割引というふうなものにつきまして
 も、そういうことが言えるわけであり
 まして、これは一般會計の豫算にとら
 み合わせ、特別會計の獨立採算制がと
 れるような方式をとつてまいりませ
 んと、まず基礎があぶなくなる。
 かように考えますので、バスの問題も
 そういう観点から申しまして、できる
 だけ詰めていく方向にもつていくこと
 が私どもとしていいのではないかと
 ちろん先ほど申しましたように、これ
 を各個人の負擔にするとか、あるいは
 一般會計がそういうものを負擔する
 方がいいではないかという問題になりま
 すれば、これは先ほど申しました有料
 バスというか、そういうものの變形になる
 わけでございまして、かような考へ方
 からいたしました、單に今重要な職務
 をもつていられるから無賃にしろ、ある

はこういうものはもつと割引をしろと
 言われまして、現狀といたしまして
 は、これをできるだけ現狀に止める。
 むしろ現狀よりも縮小していく方向に
 もつていくのが、われ／＼としては當
 然ではないかと考へられるのでありま
 す。單にそうすると、旅客交通が非常
 にこみ合うようになるからということ
 ではないのでありまして、バスという
 問題にはいろいろ場合には、運賃の問
 題よりは、むしろ乗るうと思ふときに
 汽車に乗れるといういうことがおも
 であると考へまして、指ほど申しまし
 たように、まずわれ／＼の務めは旅客列
 車の數を殖やして、いつでも汽車に乗
 れるようにする。いわんや切符はいつ
 でも買えるようにすることがわれ／＼
 の務めである。かように申した次第で
 あります。

○成重委員 わかりました。そこで私
 どもといたしましては、こう解釋した
 いと思つております。この請願に對
 して大體當局ができないという御意見
 は、要するに縣會議員としての職責の
 重要性について、その限度をどこに置
 くべきか。すなわち縣會議員の職責が
 どの程度に重要と認められるかといふこと
 について考慮される點が一つと、それ
 から鐵道そのものが獨立採算制であつ
 て、實質的に言つて、でたらめに多く
 のバスを發行すれば經理に關係する。
 この二點が大體考慮なきつては主眼
 點であると考えます。ところが縣會議
 員の職責は、こうして制度が變るにつ
 れて、だん／＼その重要性を増してき
 ていることは私が説明申し上げるまでも
 ないのであります。われ／＼も十數年
 間その職にあつてよくわかりますが、
 一番困るのは縣會のときである。ある

いは縣會以外のときにも、縣會議會は
 最近縣廳に對して特に所用が多くなつ
 ているのを私どもは見受けておりま
 す。おそろくこの縣において、縣
 會議員が定期券を要望することは同じ
 であらうと思ひますので、私どもとし
 ては、できるならば何とかして御研究
 を願つて——この請願にありませ
 見ますと、そういうことを申し上げる
 と請願者の御趣旨に反するかもしれま
 せんが、どうしてもそういう點で難點
 がありまますならば、せめて居住地から
 いわゆる所在の官廳までの間でも、常
 に自由に、あるいは時間的に最も有效
 に、活動のできるようにするには、先
 ほどおつしやつた言葉の中にもあるよ
 うに、最近においては切符は自由に買
 えるということになつたが、やはり實
 際においては切符一枚を買おうとしま
 すと、三十分なり一時間、多くは二時
 間も費さなければならぬ。自分が費
 さなければだれか人を立てて買わせる
 とか、縣廳の小使を走らせるか、役人
 がその世話をするか、たいへんな手數
 を煩わしていることは事實でありま
 す。縣會議員の職責の重要性を實現し
 ているとは思ひませんが、むしろ私ど
 もはその目的からいつて、定期券をや
 る點については、縣會議員の職責は當
 然やるべき職責にあるものと考えま
 す。それから獨立採算制の收入の點か
 らといふことになりまして、いづれに
 しても縣においては縣會に對する旅費
 でありませうか、いろ／＼な點があり
 ますから、おそろく縣會議員の中には、
 多少金を出してもいいから乗車券が欲
 しい。常に自由に乘れる便利なものが
 欲しい。という御希望の方もあつと思ひ
 ますから、一應考へ直して、この點に

ついてはできるならば、請願者のひと
 つ御趣旨に副うように、おそろくこれ
 は全國縣會議員の要望であらうと考へ
 ますので、一應再考願いたいと思つた
 であります。

○原(形)委員 縣會議員にバスを與え
 る問題ですが、先ほど成重委員からお
 つしやられましたように、要點は縣會
 議員の職責がいかに重大であるかとい
 う認識にかかつていられるのであり
 ます。ところがこれは結局は比較の問
 題ではないかと思ひます。現在鐵道に
 協力會といふものがありまして、協力
 會の委員には皆全國の二等バスを與え
 ている。そうすると協力會の委員と、縣
 會議員とどちらの職責が重大であるか
 という比較論にもなつてくると思ひま
 す。協力會の委員といふのは、地方的
 ではそれ／＼の各官署の長とか、地方
 の有力者がそれ／＼にあつておられるよ
 うであります。協力會など開くのは、
 年に數回しかないと私は承つておりま
 す。その協力會もなるほど重要であり
 まして、これをけなすわけにはありま
 せんが、それと縣會議員の職責と比較
 した場合、そこに解決の點が見出され
 るのではないかと私は思つたのであり
 ます。先ほど政府委員からの御答辯もあ
 りましたが、要は獨立採算制から無賃
 乗車を制限することは最も必要であり
 ますが、十分これは検討されまして——
 ほかに今まだ検討する點がたくさん
 あるのではないかと思つたのでありま
 す。たとへば鐵道の従業員は三十五年
 勤続すれば無賃乗車券を與えられる、
 その家族までにも與えられるというよ
 うな問題もありませんが、なるほど御本
 人は三十五年勤続で、これは鐵道とし
 て功勞者でそれに與えるのは當然だと

思ひます。鐵道にはいるとき自分の親
 父も鐵道にはいつておつたのだから、
 自分も鐵道を愛する氣持で鐵道には
 り、三十五年も勤めた、そういう人に
 對して私は決してけなすのではありま
 せんが、その家族に與えることに對し
 ては、検討の餘地がたくさんあると思
 ひます。いろ／＼な面で縣會議員の現
 在の地位が上つたと申しては語弊があ
 るかもしれませんが、民主主義の世の
 中に轉換されました、要するに選ば
 れた者が最高であるという状態に照らし
 まして、さらに一段の御検討を願つた上
 で、おきめ願うのが當然ではないかと
 思ひますので、一言意見を申し述べて
 おります。

○正木委員長 井谷君、ちよつと御注
 意申し上げますが、意見の開陳でな
 く、一應質疑ですからそのおつもりで、
 あとで委員會として御請願の取扱方を
 どうするかという最後の決定をするわ
 けですから……。

○井谷委員 私は以前に無賃バスのこ
 とがどういふふうに出されていられるか
 と内容を答えるということでありました
 のが、今にそれがないわけでありませ
 ない。ただいまの御説明でその種類がおよそ
 わかつたが、縣會議員と鐵道職員の家
 族をどういふふうと比較をされておる
 かということについては、私は腑に落
 ちない。また一面これは事實かどうか
 存じませんが、マル通とか、そういう
 方面には、おもしろい人に出ているとい
 うような話も聞いたことがあります。

そういうことがあるのでありましようか。それで縣會議員と、ただいま申しましたような職員の家族、とういつた比較をどういふところにおかれるのかということを聴きたいのであります。

○加賀山政府委員 先ほど申し上げましたように、パスの関係につきまして、私實際上の責任者でございますので、お答えすることはどうかと考えますけれども、今の御質問に對しましてお答え申し上げますならば、重要性ということからだけで判断いたしませんと、確かにただいまの状態といたしましては、不自然なものが出てきやせぬかと考えます。たとえは職員關係、あるいは退職者等に關係いたしますものは、これは重要性という見地よりは、一つの待遇として實は沿革的にやつてまいりましたものでございまして、これを重要性の問題として比較いたすことは、ちよつとできないのではないかと考えるのでございます。しかば待遇の問題としてのパスをどうするか。これは特別會計なり、幹道經營の合理化の線から大いに検討しなければならぬ。かように私は考える次第であります。

○正木委員長 委員の各位にお諮りいたしますが、この請願第二、それから第五の關係は、幹道總局の伊能長官が御出席にならないと明確な政府の答辯ができません。従つて政府の答辯を留保いたしておきまして——これは山口さんにも了解を得たいのですが、政府の答辯を留保いたしておきまして、日程を變更して議事を進めたいと思ひますが、いかがですか。山口さんよろしゅうございませぬ。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○正木委員長 きよう御了承願います。日程を變更いたしましたに移ります。

○正木委員長 第四、井野信號所を一般驛に變更の請願、文書表第二三號、紹介議員小峯柳多君。第三六、高瀬村に停車場設置の請願、文書表第一七三號、紹介議員松浦東介君を一括議題といたしました。松浦東介君より説明を聴取いたします。

○松浦東介君 山形縣東村山郡高瀬村に停車場設置の方から先に申し上げます。山形縣には高瀬村が二つあります。この高瀬村というのは、山形縣東村山郡高瀬村であります。仙臺市と山形市を結ぶ仙山線の山寺驛と楯山驛との中間にありまして、人口五千餘、戸數約八百の農山村であります。山形市近郊ではここほど交通に恵まれない村はないのであります。停車場なく、パスの便なく、縣道も名ばかりのもの一本あるにすぎない。本村の人の多くは山寺驛の方を利用しないで、もつぱら楯山驛を利用しておるのであります。その楯山驛には遠い部落からは三里以上あるのであります。山形市の官廳、會社、學校、工場等に通勤する勤勞者及び學校の生徒が非常に多い、それで楯山驛の乗降者の數の三分の二は高瀬村民であると言われております。春や夏はまだよいが、御承知の通り東北には秋から冬にかけて大量の雪が降り、これが積る。日中は短かいので、朝は未明に起きて雪道三里を歩き、夕方は暗い道を冷たい雪を踏んで歸らなければならぬ。しかも自分の村を毎日鐵道が通つて居るのですから、村民が停車場

を欲しくなるのは當然のことと思ひます。高瀬村の小、中學校の教員は、大部分他町村からの通勤者でございますので、この地方で一番不便なこの村に奉職勤務することを喜ばない、教育上のゆゆしい問題も交通不便なことに原因するのであります。この村は木材約三萬石、木炭二十萬貫、薪二十萬束、青果蔬菜五千貫、米九百石、鑛石七千トン、石材た無盡蔵にありまして、大量に出しておられます。何とぞ格別御注意をもちて御採擇の上に、いくらか小さくてもよろしいから停車場を設置していただきたいのであります。委員各位によるしくお願ひを申し上げます。

もう一つ、これは紹介議員小峯柳多君に代つて御説明申し上げますが、井野信號所を一般驛に昇格の請願であります。井野信號所は上越線の高崎と新前橋の間にあるのでございますが、きわめて利用價值が高いのであります。戦争中にはガソリン・カーがここに停車場をしておつたのであります。戦後の犠牲となり、またガソリンの不足のために今の信號所に變つた場所でありまして、この信號所の附近の利用者が非常に多いので、現在一般の乗客はまだ利用するには至つていないのであります。けれども、鐵道の關係者並びに驛員等は停車場をしてもらつてこの信號所から乗り降りをして居るものであります。これを一步進めていただきたい。一般の乗降客のために開放していただきたい、こういう請願であります。事情が非常に窮乏でむつかしいならば、ある特別の汽車だけでもよろしいから、ひとつ停めていただきたい、こういう請願であります。

○加賀山政府委員 お答え申し上げます。仙山線の山寺、楯山間の高瀬村に停車場設置の御要望につきましては、すでに昭和十年、同十五年、二回にわたつて省にお話がございまして、ちよつと戦争に向つておりましたので、調査もいたさないで今日に至つたのであります。議會における請願は今回初めて承る次第でございます。一般的に新しい驛を設置することに關しての状況をお話申し上げますと、現在日本全國で汽車が停まらないといふために、何とかしてここへ停めるといふ請願をされて居る何かが現在百六十數件ございまして、非常に多いのでございまして、われ／＼として實はこの問題をもあましていふと云つては語弊がございまして、どういたしたらいいか、非常に苦慮いたしておる次第でございます。われ／＼といたしましては、もちろんできるだけこれを御便利にしなければならぬ當然な義務がございまして、一方におきましては列車の運轉上、あるいは國有鐵道の資材、資金の面でこれを一通にいたしますことはとうてい不可能でございます。また驛といたしましては、當然そこへ相當の驛員も配置しなければならぬといふことになつてまいりますので、人員をだん／＼縮小して合理的にやつていくという見地からも検討しなければならぬ。かようなことで苦慮いたしておる次第でございます。それで方針をいたしましては、非常に區間が長くてほかに何も交通機關がないというやうな所は、何とせよたとえ假りの乗降場でもつくつて、そこで乗り降りだけはできるようにせめて努めなければならぬのではないかと

ふろに考えております。本件に關しましては、實は設備上から申しまして、驛の設置には、相當の急勾配線の連續した區間でございます。非常に困難な地點でございます。もちろんこれはまだ非常に詳しい調査はいたしておりませんが、われ／＼の見解といたしましては、驛の設置の地點がむづかしい、かようなことがあるのでございまして。たとえは、そういう急勾配があるやうな場合には、どうしても勾配を變更するために、線路のつけかえをするといふやうな非常にむづかしい工事を伴いますので、こういう所につきましては、たとえ驛はつくらなければならぬと思つても、そういうことから現在をいたしましてはできないやうなところがあるのでございます。この山寺、楯山間の高瀬村附近につきましても、そういうことで非常に困難ではないかと考えておりますが、なおよく細目調査をいたしまして、他の箇所と合せて調査して、つくらなければならぬといふ結論が出ますれば、どうしてもつくらなければならぬ、相當工事が困難でもつくらなければならぬと存じます。現状をいたしましては先ほど申しましたやうに、資金、資材の方が非常に窮乏な點で非常に困難であるといふ事情を、御了承願つておきたいと考へております。

次の井野信號所を驛にする問題に關しましては、これは御説のように昭和十二年から十五年十月まで簡易な設備で演尻、日高といふやうな二つの停車場を設けまして、旅客の取扱ひをいたしておつたのであります。昭和十五年に運輸營業を休止いたしました現在に至つておるわけでありまして、今度御提

出の案件の井野信號所は上越、高崎線、

兩線が並行しておりますところであり

まして、その上越線の方に設置された

信號所でございます。高崎からは四キ

ロ、新前橋からは三キロ三分という

位置にございまして、距離の點から申

しますとちよとよいようなあんばい

になつております。それで距離とい

い、信號所が設置されておるといふ點

から見まして、先ほどの高瀬村の驛と

比較しますれば、われ／＼の方とい

しますれば、比較的容易に驛と心得る所

なのでございまして、なおよく地方情

勢その他を調査いたしました上で採否

を決定いたしました。これも先ほどのど

れが重要かというあのパスの問題と同

じように、全国的に比較した場合には、

それが先か非常にわれ／＼決定に困難

を來すのでございまして。それならば百

六十全部をとりとつたらいよいよや

いかというように考えられますが、こ

れも先ほど申しましたように、一度に

そういうことをすることはどうして考

えられない。資金、資材の面でどうて

いできないというような状態ではござ

いますので、よくわれ／＼が調査してそ

れをまた御報告いたしました。そして、

この問題に關しましては、十分本委

員會その他におきましても検討いたし

まして、決定いたしました。かように

考えております。

○正木委員長 本請願に對して質疑は

ありませんか、なれば日程を變

更いたしました。次に移ります。

○正木委員長 日程第二五、高知縣下

における三路線に國營バス運輸開始の

請願、長野長廣君紹介、文書表番號第

九三號を議題といたします。長野長廣

君、

○長野長廣君 高知縣はすでに御心配

をいたしております通り、全國でも

最も鐵道及び省營バスに恵まれていな

い所でありまして。しかるにあるいは木

材、薪炭、それから食糧、製紙原料等

の生産をなすのは、そのほとんど七割

を占めておる山林地帯でありまして、

この山林地帯の交通を改善することが

最も急務であるということ、縣民も

非常に待望いたしておる次第でありま

す。しかし鐵道問題はまたいろいろ困

難もありますので、とりあえず現在の

道路を改良しまして、これに對して省

營バスを走らせていただく、また下ラ

ツクももちろんこれに伴うて動かして

いただきます。この急務の問題を解

決していただきますというのが御願

い本旨でございます。なおこれにつ

いて具體的に申し上げますと、上讃線

の大杉驛から地藏寺村までの線、これ

は縣費をもつて道路の改良をいたすこ

とにいたしておるのであります。それ

から大杉驛もこれは土佐山田驛から大

杉驛、これは現に省營バスがございま

す、これから一線は大杉から五王堂と

いう所に左へわかれておる。いま一つ

の線は岡の内という所に右へわかれて

おる。この二路線をひとつ何分にもお

願いをしたいというので、もう数回請

願をいたしておるわけでございます。

それからいま一つは豫土線佐川驛か

ら松山市に至るバスが、現在別府村の

縣道にかかつております橋がございま

す、そこまでは何でも十一時ごろまで

時間をきめて一回だけ折り返しをやつ

ているのであります。それからわす

かに牛里というところに別府村の森と

いう所があります。せつかくあそこま

で行つておるのでありますから、そこ

まで走らしていただきたいという御願

い、これが二つでございます。

それから大杉驛の大杉より岡の内ま

で、大杉より五王堂まで、この延長の

二線、この二つは先年運輸政務次官が

四國鐵道局の關係官並びに本省の關係

課長を御同伴になりました。御視察を

いただいた。私も立會いの上で、知事

に對して道路の改良をすればこれはや

ることにするから、その方に早く手

をつけてもらいたい、こういうことと

ございました。爾來縣費を傾倒いたしま

して調査を進めておられますが、おそ

らく最近はこの二つの路線はそれ／＼

改良が終るのではないかと思うのであ

ります。つきましてはさきような行きが

かりになつておりました、さき申しま

したような高知縣の特殊の事情をおく

みいただきます。道路ができました

ならば、またできる限りはひとつ本省

の方からも正規の豫算補助をいただき

まして、速やかにこれを完成いたし、

この地方的實情をおくみとり願つた上

でひとつ實現していただきたいという

のが御願の趣旨であります。

○正木委員長 本請願に對する政府側

の意見を聴取いたします。

○獨野政府委員 ただいまお話のこ

こざいました高知縣下の三路線につきま

して、私どもの從來調査いたしました結

果に基きまして、一應考えております

ところを申し述べたいと存じます。大

杉より地藏寺村に至る路線につきま

しては、さきに議會において請願の御探

擇もございましたので、地元の鐵道局

に實情をいろいろ調査してもらいま

して、私どももいろいろ調査して

もらいました。詳細現地

の事情は承知いたしております。しか

しながら現在のこの路線につきま

しては、民營の高知縣交通會社が運

営に當つておるのであります。その會社

の自

動車運賃につきましては、相當力もあ

るものと考えております。従いま

して、現在在材その他の關係にお

きまして、

いろいろ制約は受けておりますが、

できるだけの高知縣交通の事業を助

長育成いたしました。さしたるこの

高知縣交通の運賃によりまして、地元

の御要求を容れるようにいたしましたら

どうか、かように考えておるので

ございます。

次に大杉驛の大杉から岡の内及び五

王堂に至る路線の延長についてござ

います。この路線につきましても、實

情は鐵道局におきまして調査いた

したのでございまして、この路線につ

きまして、一部道路の幅員が非常に狭

く、自動車の運轉については相當困

難な箇所がございますので、この改修

につきまして一應考慮しなければなら

ないものと存じております。ところが

この改修工事は相當の難工事が豫想せ

られておりますので、ただいま關係の部

署と一／＼協議をいたしまして、今

後の対策を研究いたしておるので

ございます。しかしながらただいまお話

のとく、この路線につきましても現在

民營のバス事業もないうのでござい

ます。省營の大杉驛線もございま

すから、將來道路の改修がございま

すから、將來道路の改修がございま

すから、將來道路の改修がございま

すから、將來道路の改修がございま

すから、將來道路の改修がございま

すから、將來道路の改修がございま

すから、將來道路の改修がございま

すから、將來道路の改修がございま

すから、將來道路の改修がございま

すから、將來道路の改修がございま

すから、將來道路の改修がございま

すから、將來道路の改修がございま

すから、將來道路の改修がございま

すから、將來道路の改修がございま

すから、將來道路の改修がございま

すから、將來道路の改修がございま

すから、將來道路の改修がございま

すから、將來道路の改修がございま

すから、將來道路の改修がございま

すから、將來道路の改修がございま

すから、將來道路の改修がございま

すから、將來道路の改修がございま

すから、將來道路の改修がございま

すから、將來道路の改修がございま

すから、將來道路の改修がございま

すから、將來道路の改修がございま

すから、將來道路の改修がございま

すから、將來道路の改修がございま

すから、將來道路の改修がございま

すから、將來道路の改修がございま

すから、將來道路の改修がございま

すから、將來道路の改修がございま

○正木委員長 本請願に對して質疑がありませんか……

○正木委員長 御質疑がなければ日程を変更いたしました。四四、宇和より三瓶を経て八幡濱に至る間に國營バス運輸開始の請願、高橋英吉君外八名紹介、文書表番號第二五二號、四五、九州、四國間連絡國營航路開設の請願、高橋英吉君外十三名紹介、文書表番號第二五三號、四七、八幡濱からの三路線に國營バス運輸開始の請願、高橋英吉君外八名紹介、文書表番號第二六一號を一括議題として、紹介議員高橋英吉君の説明を求めます。高橋英吉君。

○高橋(英)委員 四四のバス運輸開始の請願の件であります。これは四七のバス運輸開始の件の一部であつて、四七のうち包含されておるのでありますけれども、特に四四の請願は、四七の請願のうちでも特殊な事情があるとして、別に請願しておるような次第であります。これは簡単に申し上げませんが、愛媛縣の東宇和郡の坂石という所から宇和町まで現在省營バスが運行されております。その宇和町から三瓶町まで、それから三瓶を経て八幡濱の方へ来る間が、當然省營運行をされるべき性質のものであるにかかわらず、これは今日までその實現を見ていない、元來坂石から宇和まで省營バスが開設されましたときに、もうひと足で開設されましたときに、もうひと足で進んで三瓶まで延長されることになつておつたのです。ところがその途中にトンネルがあるのであります。當時鐵道省としては、そのトンネルを利用して三瓶まで延長するということに決定し、その工事に着手しようとしたのでありますけれども、すこ

し高いからと根本的に隧道の掘下げをやつて、運行の圓滑を期さなければならぬという議が起つて、せつかく鐵道省の方から三瓶まで延長してやるというふうな決定して實施に着手されておつて、この坂石から宇和町のと同時に三瓶まで延長されることになつておつたのを、お断りして、根本的な隧道開鑿を要望しておつたのであります。戦争が始まりましてとうとうその隧道工事ができなくなつた。今日に至つてみれば、當時鐵道省の勸告に従つて運行しておつたならば、どのくらい地方のために有益であつたかと、後悔しておるような次第であります。従つてもう大きな隧道とか何とか、そういうふうな望みは捨てて、運輸省がつかつて御勸告になつて實施されようとしたその計畫通りでいいですから、ぜひ三瓶まで、また八幡濱まで延長していただきたいということになつております。この要望は、當局においてもむろん切實な要望であつて、妥當なものとしてお取上げくださつて、事情の許す限り速やかにこの實現をはかつていただくということになつておるようになつておりますが、そういうような關係から、とりあえずこの重要性を認めていただいて、トラックの開設が最近實現することになつております。しかしこのトラックばかりでは、とうとう地方の要求を満たすわけにいかないのではありません。ぜひこの路線を速やかに實現していただきたいと思つております。ただこの路線に宇和島自動車という私設自動車會社が

あります。これは有名無實な、不在地的なものになつておるのであります。この既得権を活用して運行いた

し、地方民の要求を満たすということになつていないのが現状であります。これは御調査の結果おわかりになつておることと思つて、根本的には對民間業者との問題にもなりませうけれども、こういう有名無實な民間業者の既得権というものは、これは適當に是正していただかなければならぬと考えております。そういう事情でありますから、この宇和から三瓶を経て八幡濱に至る間に國營バス運輸開始の件は、ぜひ速やかに今年度から、それができなければ來年度に、ぜひ着手していただきたいと思いますのであります。何とぞ御採擇をお願いいたします。

それから四七のバス問題ですが、これはただいま説明しました分も含んでいるのであります。すなわち八幡濱、三瓶間、これは十一箇町村を包含してあります。それから八幡濱、卯之町間は八箇町村を含んであります。これはただいま申し述べた路線のことです。それから八幡濱、長濱間、これが七箇町村を含んであります。これに對して省營自動車の運行をお願いしたいという趣旨であります。その理由は、愛媛縣西南部地方の地形的特性をよぐ認識せられ、永年懸案の四國循環鐵道の完成、九州四國省營連絡航路の開設等、御配慮中であることは地方民ひとしく感謝してゐるところであります。昭和十四年二月、國鐵豫讃

線、松山八幡濱間が開通し、地方民多大の利便に歡喜したのであります。これに隨伴してその培養線とも稱すべき、八幡濱、三瓶間、八幡濱、卯之町間、八幡濱、長濱間の省營自動車運行方を懇請し、その實現の一日も速かならんことを念願してしたのであります。し

かるに戦争その他の關係上、實現を見ず、爾來地方民は耐えがたきを耐え、忍びがたきを忍び、極度の不便不利と戦いつつ今日に及んでおるのであります。特に八幡濱より川之石、磯津を経て長濱間の省營自動車運行については、豫讃線長濱、八幡濱間の海岸迂回の代價的補助線として、すでに當局において御決定済のよう聞き及んでおり、これが開設の要はますます緊言を要しないところで、現在道路も完成している現状であります。八幡濱より佐田町の先端に位する三崎村に至る四十六キロの間は、十一箇町村人口約六萬を有し、水産物、青果、その他農産物等海陸資源に恵まれた所でありましたが、現在陸上交通機關ならなく、わずかに沿岸小型船をもつて一日一回、あるいは隔日便によりその交通を滞たしつある状態です。天候不良の際は杜絶し、まつたく孤立化する状態であり、地方民の不便は想像に餘りある現状であります。八幡濱より川上村、眞穴村、二木生村、三瓶町を経て卯之町に至る約二十キロ間は、現在陸上交通機關皆無でありまして、地方民の不便はまつたく首語に絶する有様、殊に近時とみに活氣を呈しつつある三瓶町における紡織工業その他平和産業の發達に伴い、確實なる交通機關の運行を要望する聲切なるものがあるものであります。

以上のごとく現状でありますから、地方産業の發展、文化の向上並びに現在急迫せる食糧事情打開のため、地方民多年の希望を諒とせられ、右事情御賢察の上、何とぞ特別の御詮議をもつて願意を相かなえくださいますよう、地方民最大の熱意をもつてひとえに懇願する次第であります。この二路線の

中の二線も、先ほど説明しました路線と同様にその必要性を認めていただきまして、トラックだけは現在諸般の準備が完了してまことに近日中に運行を開始するということになつておりますから、ぜひトラックばかりでなく、バスも同様なことにしていただきたいと地方民は熱望してゐるのであります。

それから四五の九州、四國間連絡國營航路開設の請願であります。これは運輸省關係の請願中では最も運輸省當局が御苦慮になつてゐる問題であると思つてあります。詳細は後ほど井谷、村上兩代議士から御説明があるかと思つてありますが、私は簡単にこの問題について大局的にその説明の補充というふうな意味で申し上げて御参考を供し、御採擇を得たいと思つておるものであります。

すでに九州と四國の連絡の問題は、數十年以來からの問題でありまして、四國の循環鐵道が完成すれば、必ず九州と四國の鐵道幹線をつなぐところの省營連絡船ができなければならぬといふので、地方民は數十年來にわたつて四國循環鐵道の完成と並行してかねてお願いしておつたのであります。ところがそれが實を結んで、また諸般の情勢が四國と中國間の連絡船の開設を妥當とするということになりましたために、昨年の議會におきまして、今年の議會におきましても請願したと思つてありますが、その請願議會において採擇された結果、昭和二十二年度においてこの連絡船開設のための豫算が運輸省豫算として計上されておるというふうなことは承つておるのであります。さらさらとあの宇野、高松の連絡船が、新造船の就航によつて現在就航してい

る中、先ほど説明しました路線と同様にその必要性を認めていただきまして、トラックだけは現在諸般の準備が完了してまことに近日中に運行を開始するということになつておりますから、ぜひトラックばかりでなく、バスも同様なことにしていただきたいと地方民は熱望してゐるのであります。

すでに九州と四國の連絡の問題は、數十年以來からの問題でありまして、四國の循環鐵道が完成すれば、必ず九州と四國の鐵道幹線をつなぐところの省營連絡船ができなければならぬといふので、地方民は數十年來にわたつて四國循環鐵道の完成と並行してかねてお願いしておつたのであります。ところがそれが實を結んで、また諸般の情勢が四國と中國間の連絡船の開設を妥當とするということになりましたために、昨年の議會におきまして、今年の議會におきましても請願したと思つてありますが、その請願議會において採擇された結果、昭和二十二年度においてこの連絡船開設のための豫算が運輸省豫算として計上されておるというふうなことは承つておるのであります。さらさらとあの宇野、高松の連絡船が、新造船の就航によつて現在就航してい

るのが要らなくなり、それを九州と四國の連絡航路にまわして、この國家の要請に應じようということになつて、その豫算が二十二年度に計上されて、承つておられます。しかるに、豫算が計上されているにもかかわらず、これが一向實現しようとしなないというのが今日の現状であります。これはどういふところからそういうふうなことになるかといふと、ほのかに承りますと、民間業者の反對がある。また運輸省において、海運總局の方でこの實現をお好みにならない。そういうふうな關係があつて、これは行き惜んでおるといふことであります。せつかく豫算に計上せられながらもそれが實現しないといふことは、私は大きな問題であると思ひます。議會がすでに必要であると信じて、協賛した豫算のある事業が、實現しないといふことは、たいへんな問題であると思ふのであります。要するにただいま申し上げましたごとく、省内における幾多の問題、それからまた民間業者との問題、民間業者が有力でありましたために、これに對する強硬反對運動によつて、いろいろな隘路がここできておるといふふうな關係に對するものであります。従つてこの問題は現在運輸省内においては非常に重大な悩みの種の問題であると思はれるのであります。この症を切開すること、私が運輸省内の空氣を見ますと、運輸省内の空氣もしくは鐵道總局と、海運總局との關係の不圓滑さを解消するに役立つのではないかと思ふのであります。そういう意味におきまして、ぜひ運輸委員會における諸關係において、最も意義ある仕事をされるということになりますならば、

この問題の解決以外にはないと思ふ。この問題が御解決になるならば、運輸委員會の手によつて、この重大な問題が、運輸省内においても最も悩みの種になつて、痛となつておると言つてもよいこの問題が、解決されることになりますれば、これは非常に國家、地方のために有益なことになると思ふのであります。そういうふうな意味におきまして、私はかねて各委員、また委員長ともいろいろ懇談申し上げ、當局の意見も承りまして、この問題を解決するために當委員會から代表を現地視察調査のために派遣せられて、その慎重な調査の御報告をお聴きになつた上に、この問題の解決に當つていただきたいという希望をもつておる次第であります。どうぞこの問題につきましまして、そういうふうなことを後ほど正式にお願いいたしますが、詳しいことは井谷、村上兩代議士から説明があると思ひますから、私はこの程度にしてお願ひする次第であります。

○正木委員長 お話いたしましたすが、ただいま議題となつております四五號は四八、四九とも關連がありますので、政府からの説明はあとに譲りまして、四四、四七の二件について政府側の意見を徴取いたしたいと思ひますが、いかがですか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○正木委員長 異議がなければさよう取計いたします。

○郷野政府委員 八幡濱を中心とするたぐいのお話がございましたが省管自動車の運開始を要望せられますことにつきましまして、私どもの考え方を御参考までに申し上げてみたいと思ひます。

卯之町、三瓶、八幡濱間の路線の問題につきましましては、ただいまお話のありましたようないろいろな沿革のありましても私も私としては詳細承知いたしております。この路線につきましましては、すでにお話のごとく卯之町、三瓶間につきましまして一度計画を立てたことのあるのであります。實行を見ずに終つてしまつたのであります。最近の事情から申しまして、この路線の自動車の輸送力を整備強化しなければならぬという事情は、十分に私どもも認識をいたしておるのでございませう。ただ國營自動車開設につきましましては、豫算また資材などの關係からいたしまして、やはり相當の困難な立場にございませう。また民間のたぐい運管に當つておられます事業につきましても、できるならば十分にその發達助成をはかりまして、省管に代るだけの輸送を擔當させていくということも考えてみなければならぬものと存じておるのでございませう。従いましてこの路線の貨物の營業につきましましては、地元におきまして種々詳細な調査を遂げて、關係の業者の方々の實際の運管の實情などにつきましましてお打合せをいたした結果、大體省管で近く始める方針を立てまして、圓滑にその實施の準備を進めておるのでございませうが、パスの問題につきましましてはなお問題が残つております。従いましてこういふ點についてさらに十分の調査をいたしまして、今後の對策を立てたいと思ひます。

次に八幡濱、長濱間の路線でございますが、この路線につきましても現在中間一部連絡はいたしておりますが、既設の民營のバス事業がございませう。従いましてこのバス事業との關係におきまして、なお私どもとしても十分に考慮すべき問題が残つておるやうに存じております。しかしながらこの路線の重要性につきましましては、十分に承知しておりますので、何らかの方法によりまして、なおできるならば省管といふことも十分に考えまして、今後これに對して對策を立ててまいりたいと思ひますが、この路線につきましてもさしあたりトラック事業についてはその計画を進めておられます。なお川之石から三崎にまたがります間につきましましては、これまたたぐいお話のような事情で、この間の陸上交通を自動車によつて整備いたしますことの必要性は十分にこれを確認いたしまして、對策を立てなければならぬものと思ひますが、ただ現在におきましては非常に道路の状態がこの區間は悪いようでございます。従いまして道路の改修計畫も今後關係の箇所と十分打合せをいたしまして、これから立ててまいらなければならぬものと思ひます。ただこの區間につきましまして、トラックの運管につきましましては、できるだけ早くこれを實現いたしたいものと思ひますが、パスにつきましましてはこういふ事情からいたしまして、多少時日が遅れるのではないかと存じております。なおこの區間については現在民營のバス事業はございませぬ。そういう状態でございますので、全線トラックの運管についてはこの三線ともたぐい準備を進めておるのでございませうが、バス事業については今後資材、豫算その他いろいろな面から、省管自動車自體のもつて行き方についても研究しなければならぬもの

がございませう。と同時に私どもの立場としては、民營事業の發達助成という點、また省管自動車を開始するにあたり民間の事業とできるだけ摩擦のないやうに處置をしてまいらなければならぬといふ點から、研究すべき問題が残つておると存じますので、この點からに解決に努力をいたしたいと思ひます。

○正木委員長 本請願に對しては質疑もないやうでありますから、日程四八、九州、四國間連絡國營航路開設の請願、井谷正吉君、文書表番號第三九七號、日程四九、九州、四國間連絡國營航路開設の請願、村上勇君、文書表番號第四〇九號を一括議題とし、井谷君並びに村上君より説明を求めます。

○井谷委員 九州、四國連絡國營航路開設促進に關する請願の趣旨を説明いたします。

最近新國土計畫では、陸上輸送交通の全國一元の強化が緊急重要國策の一つとなつておりました。しかして陸海船の連絡をよく調製し、その最短路線を選び、これが施設の完備をはかり、迅速に低廉かつ平易に輸送交通機關の使命を果し、もつて大衆の利便と産業の開發に協力せしめることが、國策本來的目的であることはいまさら贅言を要しないところでございませう。由來わが國はこれらの機關に恵まれず、従つて地方産業並びに文化の方面においてきわめて低調であつたのでございませうが、政府は前に資源開發に着目せられまして四國循環鐵道を企圖せられ、歴代政府の努力によりまして着々これが實現を見、今やまさに完成の域に達せんとしているのであります。

これがために交通は一段と頻繁を加え
來つたのでございます。四國と他との
連絡は、わずかに東部の宇高線のみ
依存しておりました。九州、四國の連
絡が未完成のため、その眞價をあげる
に至つておりませんことは、國家的見
地よりするもまことに遺憾の極みで
ございます。四國の西南部と一衣帯水ま
つた指呼の間にあり、經濟的にも交通
最も頻繁なる對岸の九州との連絡が舊
態依然としておりました。ただ私營の
獨占會社の、打算的で缺陷の多い不規
則なる連絡に委ねている現状でござい
まして一般大衆の不利、不便は筆舌に盡
しがたいものがございます。殊に本線
は飽和状態にある山陽本線の副線を意
味する重要線でありまして、利潤を目
的とする私營會社に任せることは絕對
に許されないのであります。以上の精
神に基いて、過去幾十數度にわたり、
四國循環鐵道促進運動と並行し、關係
官廳へ敢願陳情を重ね來つたのでござ
います。仄聞するところによれば、本
件に關してはすでに建議案も通過して
おり、さらに今回宇高線に使つておつ
た船を、新造船の竣功とともに他へま
わし得られる餘裕を生ずるといふこと
も、われ／＼の耳にいたしておるとこ
ろでございます。この好機會において
ぜひこれを九・四連絡の方にまわして
いただきましてこの實現をはかりた
い。ここに請願をいたす次第でござい
ます。なお愛媛縣におきましても、
滿場一致をもつてこの九・四連絡省管
實現促進の件を議決したような次第で
ございます。これが九・四省管連絡促
進に關するわれ／＼の請願いたしましたし
理由の大要でございます。

おりまする四八號、文書番號三九七
であります。これは宇和島市に設け
ておりまするところの豫土西南部鐵道
期成同盟會、豫土西南部市町村代表
として出ておるわけでございます。こ
の四國循環鐵道が、現在高知縣の久禮
という所から愛媛縣の吉野生という所
の間が未完成になつておるのでござい
ます。これを早くひとつやつていただ
きたいという請願であります。この高
知縣の南の方、また愛媛縣の西南部は
物資が非常にたくさんございます。す
が、この連絡ができていないためにこ
の需貨というものがたいへん不利益を
來しておるのでございまして、ぜひと
もこの實現を急いでいただきたい。こ
ういうのがこの四國循環鐵道促進の請
願であります。

があるものであつたならば、ことさらに
これは慎重な態度をとる必要がござい
ますので、ぜひとも當委員會からこの
實地に委員の出張をなきしめるように
お願いをいたしたいと思つ次第でござ
います。なおこの五〇號の……
○正木委員長 五〇はまだ日程に上つ
ておりません。
○井谷委員 これもやはり關係してお
りまするから申し上げることはないと
思つておりますが、以上のような成
行きでございます。何とぞ各位におか
れまして慎重御審議の上、この委員の
出張ということについて御賛同を得る
ようにお願いをいたしたいと思つ次第
であります。
○正木委員長 日程四九について村上
君。

は、波靜かなる内海を隔てて一衣帯
水、指呼の間にありまして、その間わず
かに四十マイルにすぎないのでありま
す。ここに省管航路を開き、日豊、豊肥、
久大の幹線と對岸香川、愛媛兩縣にお
たる國鐵豫線を直結連絡し、貨車の
航送、旅客の輸送を開始するに至りま
すれば、その惠澤はただ單に兩島のみ
ならず、再建新國土交通運輸の一大活
路として、國民大衆のひとしく享受す
るところとなるのであります。今、試
みにこれが實現後の利益を列挙いたし
ますれば次の通りであります。一、飽
和點に達しておる關門トンネル並びに
山陽本線の輸送を緩和する。二、貨車
の備在を防止する。三、距離の短縮に
伴ひ運賃の低下が大幅に行われる。
四、貨車航送により貨物の破損がな
く、運賃の低下はコストの高騰を防
ぐ。五、産業文化の開発向上に貢献す
る。六、正確安全なる輸送及び旅行が
できる。

以上簡單に申し述べましたが、さら
にこれが實現を容易ならしむる理由と
しましては、次のような好條件をあげ
ることができるのであります。一、遊休
せる可動橋の利用、これは關門隧道開
通以來不用となつておりました門司、下
關の可動橋をそのまま活用できるとい
うことであります。二、餘裕を生じた
る航送連絡船の活用、今回先ほど申し
上げました宇高連絡航路用新造船竣工
によりまして餘裕を生じたる舊船船を
そのまま活用できるというのであり
ます。聞くところによりますれば、右
のごとき遊休設備を活用すべき場所は
この九・四の間を除いてこれをほかに
見ないといふことであります。すでに
條件においてかくのごとき優位を占め
るのみならず、わが大分縣におきまし
ても、對岸愛媛縣におきましても、これ
が實現促進に對しては過日縣會におい
て滿場一致の議決を見、さらに縣民大
會の開催をするに至り、速やかなる實
現熱望の聲はちまたに滿ち、輿論はま
さに最高潮に達しておる實情でありま
す。しかしてこれが實現を阻害するも
のとしては、民間に傳うるところによ
りますれば、從來主としてこの間の旅
客輸送に従事しておりました一民
間會社利會社の擁護に存すると聞くので
あります。もしはたしてしかりとな
るならば、これは申すまでもなく一營
利會社の營利のため多數大衆の利益を
犠牲に供し、その輿論を無視するもの
でありまして、最も明らかなるべき甲
主政治に一大汚點をしるすものとい
うべく、識者のひとしく遺憾とする
ころであります。申すまでもなく、敗
戦日本の生くべき道は、残された四つ
の島をいかに高度に活用するにかにか
つております。それがためには從來比
較的忘れられておりました地方の資源
を開發するとともに、それを最も圓滑
なる輸送のルートに乗せて、速やかな
る交流を行い、物資の備在を防ぐこと
にあると思つております。この意味
におきまして、九州と四國を直結する
ことは、残された資源の開發と圓滑な
る輸送の両面において、再建國土經營
上唯一の活路であると確信するのであ
ります。願わくば國民大衆の輿論に聽
き、これが便益の擁護と、國家百年の
大計とも言うべき公共的施設の急速な
實現のために、絶大なる御支援を賜
わりたいのであります。ここに地方民
の熱意を代表して請願者に代わりまし
て、よろしく御採擇あらんことをお願

おりまする四八號、文書番號三九七
であります。これは宇和島市に設け
ておりまするところの豫土西南部鐵道
期成同盟會、豫土西南部市町村代表
として出ておるわけでございます。こ
の四國循環鐵道が、現在高知縣の久禮
という所から愛媛縣の吉野生という所
の間が未完成になつておるのでござい
ます。これを早くひとつやつていただ
きたいという請願であります。この高
知縣の南の方、また愛媛縣の西南部は
物資が非常にたくさんございます。す
が、この連絡ができていないためにこ
の需貨というものがたいへん不利益を
來しておるのでございまして、ぜひと
もこの實現を急いでいただきたい。こ
ういうのがこの四國循環鐵道促進の請
願であります。

があるものであつたならば、ことさらに
これは慎重な態度をとる必要がござい
ますので、ぜひとも當委員會からこの
實地に委員の出張をなきしめるように
お願いをいたしたいと思つ次第でござ
います。なおこの五〇號の……
○正木委員長 五〇はまだ日程に上つ
ておりません。
○井谷委員 これもやはり關係してお
りまするから申し上げることはないと
思つておりますが、以上のような成
行きでございます。何とぞ各位におか
れまして慎重御審議の上、この委員の
出張ということについて御賛同を得る
ようにお願いをいたしたいと思つ次第
であります。
○正木委員長 日程四九について村上
君。

は、波靜かなる内海を隔てて一衣帯
水、指呼の間にありまして、その間わず
かに四十マイルにすぎないのでありま
す。ここに省管航路を開き、日豊、豊肥、
久大の幹線と對岸香川、愛媛兩縣にお
たる國鐵豫線を直結連絡し、貨車の
航送、旅客の輸送を開始するに至りま
すれば、その惠澤はただ單に兩島のみ
ならず、再建新國土交通運輸の一大活
路として、國民大衆のひとしく享受す
るところとなるのであります。今、試
みにこれが實現後の利益を列挙いたし
ますれば次の通りであります。一、飽
和點に達しておる關門トンネル並びに
山陽本線の輸送を緩和する。二、貨車
の備在を防止する。三、距離の短縮に
伴ひ運賃の低下が大幅に行われる。
四、貨車航送により貨物の破損がな
く、運賃の低下はコストの高騰を防
ぐ。五、産業文化の開発向上に貢献す
る。六、正確安全なる輸送及び旅行が
できる。

以上簡單に申し述べましたが、さら
にこれが實現を容易ならしむる理由と
しましては、次のような好條件をあげ
ることができるのであります。一、遊休
せる可動橋の利用、これは關門隧道開
通以來不用となつておりました門司、下
關の可動橋をそのまま活用できるとい
うことであります。二、餘裕を生じた
る航送連絡船の活用、今回先ほど申し
上げました宇高連絡航路用新造船竣工
によりまして餘裕を生じたる舊船船を
そのまま活用できるというのであり
ます。聞くところによりますれば、右
のごとき遊休設備を活用すべき場所は
この九・四の間を除いてこれをほかに
見ないといふことであります。すでに
條件においてかくのごとき優位を占め
るのみならず、わが大分縣におきまし
ても、對岸愛媛縣におきましても、これ
が實現促進に對しては過日縣會におい
て滿場一致の議決を見、さらに縣民大
會の開催をするに至り、速やかなる實
現熱望の聲はちまたに滿ち、輿論はま
さに最高潮に達しておる實情でありま
す。しかしてこれが實現を阻害するも
のとしては、民間に傳うるところによ
りますれば、從來主としてこの間の旅
客輸送に従事しておりました一民
間會社利會社の擁護に存すると聞くので
あります。もしはたしてしかりとな
るならば、これは申すまでもなく一營
利會社の營利のため多數大衆の利益を
犠牲に供し、その輿論を無視するもの
でありまして、最も明らかなるべき甲
主政治に一大汚點をしるすものとい
うべく、識者のひとしく遺憾とする
ころであります。申すまでもなく、敗
戦日本の生くべき道は、残された四つ
の島をいかに高度に活用するにかにか
つております。それがためには從來比
較的忘れられておりました地方の資源
を開發するとともに、それを最も圓滑
なる輸送のルートに乗せて、速やかな
る交流を行い、物資の備在を防ぐこと
にあると思つております。この意味
におきまして、九州と四國を直結する
ことは、残された資源の開發と圓滑な
る輸送の両面において、再建國土經營
上唯一の活路であると確信するのであ
ります。願わくば國民大衆の輿論に聽
き、これが便益の擁護と、國家百年の
大計とも言うべき公共的施設の急速な
實現のために、絶大なる御支援を賜
わりたいのであります。ここに地方民
の熱意を代表して請願者に代わりまし
て、よろしく御採擇あらんことをお願

は、波靜かなる内海を隔てて一衣帯
水、指呼の間にありまして、その間わず
かに四十マイルにすぎないのでありま
す。ここに省管航路を開き、日豊、豊肥、
久大の幹線と對岸香川、愛媛兩縣にお
たる國鐵豫線を直結連絡し、貨車の
航送、旅客の輸送を開始するに至りま
すれば、その惠澤はただ單に兩島のみ
ならず、再建新國土交通運輸の一大活
路として、國民大衆のひとしく享受す
るところとなるのであります。今、試
みにこれが實現後の利益を列挙いたし
ますれば次の通りであります。一、飽
和點に達しておる關門トンネル並びに
山陽本線の輸送を緩和する。二、貨車
の備在を防止する。三、距離の短縮に
伴ひ運賃の低下が大幅に行われる。
四、貨車航送により貨物の破損がな
く、運賃の低下はコストの高騰を防
ぐ。五、産業文化の開発向上に貢献す
る。六、正確安全なる輸送及び旅行が
できる。

いする次第であります。

○正木委員長 此の際お諮りいたしますが、日程四五、四八、四九については政府委員よりの意見を聴取いたすことになりまするが、政府委員よりの意見聴取は午後に行いたしまして、午前の會議をこの程度にいたし、午後二時より再開したいと思ひますが、いかがですか。

〔異議なしと呼ぶ者あり〕

○正木委員長 異議がなければ午後二時半まで休憩いたします。

午後二時四十分再開

○正木委員長 再開いたします。午前の會議に引續き諸願の審査を續行いたします。

先ほど政府側の意見を留保してあります。日程四五、日程四八及び日程四九の各諸願については、都合により日程五〇の諸願の紹介説明を聴取した後、一括して政府委員より意見を聴取したいと思ひます。

では日程五〇、文書番號第八一六號、四國循環鐵道の全通並びに九州、四國間連絡國營航路開設の諸願、井谷正吉君の紹介であります。紹介議員井谷君の説明を聴取いたします。

○井谷委員 四國循環鐵道は現在高知縣久禮から愛媛縣の吉野生まで約八十キロの間が軌道未設のため開通していませんのであります。これが開通いたしますれば、この高知縣、愛媛縣の地域の年産三億圓を突破する魚獲物と、山間部から産します年産六千萬圓に達する木炭及び五百萬石を超える素材の搬出ができると思ひます。多年これは地方民が要望しておるところであります。

ので、何とぞ早急に軌道が敷設されますように御考慮願ひたいと思ひます。

なほ九、四連絡の問題につきましても、午前中に申し上げたことと同一のことでありまするから、省略いたします。何とぞよろしく御審議をお願い申し上げます。

○正木委員長 本請願に對する政府側の意見を聴取いたします。

○岡田(信)政府委員 九州、四國の連絡航路でございますけれども、實は私擔當ではないのでございますが、ちよつと擔當の政府委員がおられますので、私代つて御答辯申し上げます。九州、四國間の連絡輸送を強化することはきわめて必要でありまして、運輸省といつたしましても、事務的並びに技術的各方面の調査をたゞいまやつておる次第であります。しかしながらこの航路の計畫を具體的に立てますにつきましても、いろいろの關係、たとえば既存の船舶の關係をどうするか。あるいは基地をどこにとるかというふうないろいろの關係がございますので、これらの點を今後十分検討いたしまして、具體的の計畫を立てたいと考えておる次第でございます。

なほ四國循環鐵道の全通につきましても、ただいまお話しいたしましたように、目下宇和島側では吉野生、高知側では影野との間約七十一キロばかり鐵道がないのでございます。この鐵道を敷くことが、あの地方の資源の開發にきわめて必要なことは申すまでもないのであります。そのために戦後工事を一部續行しまして、去る十月二十日に土佐久禮、影野の間が開通した次第であります。それ以外の地につきましても、

は、ぜひ速やかにやりたいと考えてはおりますけれども、先ほど申し上げましたように、今日の情勢では早急着手の運びに至らないので、おそろしく今年、來年度はそれを續行するわけにはいかぬと考えておる次第であります。しかしながら情勢が變りまして、資材その他の面が潤澤になりましたならば、まず第一にこの線に着手いたしまして、速やかに竣功せしめて、この地方の資源の開發その他、交通の利便に資したと考へておるのであります。

○秋山政府委員 九、四連絡航路につきましては海運總局の側で考へております事務的の考へ方を、若干御説明させていただきます。交通の要點確保というものは、申すまでもなくきわめて必要なことでありまして、できるだけこれが改善充實のたために、われわれも一生懸命努力しておるのであります。何分資材その他方面に御迷惑をかけておることなどはしたくない、かように自覺いたしておるのでございます。問題になつております四國、九州間の連絡航路でございますが、宇和島側の事情は、相當航路があつたようでありまして、この點はまことに遺憾を感じておられます。しかしその後七月ごろになりましたら、石油がかなり欠配であつたといふことは、公衆の利益にならないことでもあります。當該航路に従事しておる關西汽船も、あるいはその他の會社も、十分協力して石油の運配による航路をなくすようにせよといふことを嚴重に申し渡すと同時に、關西汽船では多少航路の船舶の入替をいたしまして、從來就航しておりました第二十三号和島丸、

れわれといたしましても、これが施設の改善その他には極力努力してまいつたのでございます。われわれの見るところによりますると、これは各方面非常な願望はいたしておりまするけれども、この航路の状況は現在のところ非常に悪いとも申し上げかねるのであります。實は少しく長い実績を見まして、今年の一月ごろは大體定員に對して平均八八〇程度の状況でございます。二月が七〇〇、三月が一二二〇、これは少し減っております。四月が九四〇、五月が一〇四〇、六月が七七七、七月が七九〇、八月が六六〇、九月、十月は多少旅客の減少を呈しておるようでありまして、具體的なこの航路の數字は持ち合わせておりませんが、關西汽船全體といたしまして、非常な旅客の減少を見ておるようであります。

この三月と五月の一〇〇〇を越えておる部分につきましては、いろいろと原因を探究してみただけでございますが、最も致命的でありましたのは、この月の石油の配給が思う通りまいりました。切符は出してあつたのでございませぬが、現物化ができませんために、相當航路があつたようでありまして、この點はまことに遺憾を感じておられます。しかしその後七月ごろになりましたら、石油がかなり欠配であつたといふことは、公衆の利益にならないことでもあります。當該航路に従事しておる關西汽船も、あるいはその他の會社も、十分協力して石油の運配による航路をなくすようにせよといふことを嚴重に申し渡すと同時に、關西汽船では多少航路の船舶の入替をいたしまして、從來就航しておりました第二十三号和島丸、

それから舞州丸のほかに、大衆丸というものを、他の航路へ移しまして、これに充當いたしました。それからそのほかに郡山、早瀬といつたような汽船を配して極力航路のないように努力いたしました結果、遂に完航いたしましたのであります。それから九月、十月も同様な手配を命じてございまして、まず航路はないものと確信いたしておる次第でございます。それからなお鐵道との連絡の問題がございまして、非常に不便であるといふ聲がございましたので、鐵道當局ともいろいろ話しした結果、八月からは國鐵の方でも切符の販賣の制限が緩和されましたので、それに應じて連絡切符の自由販賣を実施いたしております。それから八幡濱の驛と港との間の連絡、これが約二キロ半ほどございまして、非常に不便でございますが、この點は關西汽船に命じて、宇和島汽船會社と連絡いたしまして、定期船をまわす、かような措置を講じた次第であります。それから今後の改善計畫でございますが、關西汽船としては特別に最近許可をもらひまして、これは全國各地の交通線についてでありまうに九隻は關西汽船が新造いたしております。これは今續々できておると思ひます。しかし豫定よりは資材の關係で遅れておるのは遺憾であります。遅くとも本年度いつばいにはできると思ひます。そうならば他の航路との配船の調整をいたしまして、一千トン級の船が二隻配船できる豫定になつております。かような状態でございます。この航路は非常に歴史が古らうございまして、明治十七年以來民間の會社にお

いて管々これが改善に努めてまいつた航路でございます。従つてわれわれとしては會社のいたりませんところはできるだけ督勵をいたしますが、今急に民營をやめるといふことはどうも少し酷なような氣持もいたします。鐵道當局ともいろいろ相談をいたしておるような次第でございます。もちろん鐵道が幹線計畫と申しますか、あるいは貨車運用の計畫と申しますか、そういった方面から一つの貨車航送のようなサービスが必要であるというような立場であると、問題は別であると思ひますが、單に旅客線の經營というところでございますとやはり餅屋は餅屋というやうなこともございまして、長い間やつておりますものをむげに退けるということも、これは困難ではないかというやうな見解にあるわけでございます。

○正木委員長 本前項に對して質疑はありませんか。高橋英吉君。

○高橋英委員 本問題について運輸省内の海運當局が非常に張り切つて出席せられて、名答辯をせられたことに對しては敬意を表しますが、かんじんの鐵道總局の當面の御責任のある方が御出席になつていないといふことは、はなはだ遺憾に存じておるのであります。これは出席されてこの難問題について答辯せられることを回避せられるのではないと思ひます。そういうふうな卑怯なことはいふと思ひますから、何か非常に重要な差障りがあつて御出席にならないと思ひますので、質問をしまして満足を得るかどうかわかりませんが、一應質問いたしましたし、もし満足なる御説明ができませんようでしたら、また次の機會にこれを留保

して質問させていただきたいと思ひます。第一に昭和二十二年年度の豫算に九州と四國の連絡線の實現に關する費用が計上してあるものであります。それがどのくらい金額になつておるか、それからその規模とか構想、すなわちどういふ連絡の方法をとられるのであるか、それについて説明を承りたいと思ひます。

○岡田(信)政府委員 九、四連絡に關しまして二十二年年度の豫算を計上いたしました事實はないのでございます。計畫といたしまして、もしやることすれば、このくらいというやうなことで、かつどの程度の船が必要というところは計畫としてはいちじました。具體的なものとして豫算に計上いたしましたことではないのであります。

○高橋(英)委員 岡田政府委員としてはつきりそれを言明されますか。それは間違ひありませんか。私は現に豫算問題にも立ち會つておりますし、この問題については私の代議士として出ておるのではないかと思ふほどの重要な問題でありますから、従つてしじやう運輸省内外と連絡とつておりますが、伊能長官は今年になつても幾たびか言明されておる。先日も政府委員室においてこの豫算計上の問題について私と田中政務次官と伊能長官との三人の間に談話を交換したのであります。田中政務次官は豫算の計上がないというふうなことを言われたのに對して、私がそういうことは絶対にない。豫算の計上があるはずなんだと申しましたところが、伊能長官はそれは豫算には計上してあるのですとつきり言明されて、二十二年年度の豫算にはある程度の費用は計

上してあるというのであつたのです。ところが田中政務次官は、自分の調査によるとこの航路を完全にするたゞには一億圓かかるから、この豫算の計上というふうなものはないか、できぬものではないかというふうな説明であつたのであります。伊能長官は自分の方の計畫としては、それほど大きな金を必要としない。従つて二十二年年度分についてはそれほど豫算を計上してないけれども、ともかく豫算を計上してあるのだということをつきり言われておるのであります。それはあなた間違ひじやありませんか。それはつきり言ひ切ることができませんか。

○岡田(信)政府委員 五箇年計畫等には計上をいたしてあつたのでございませぬが、昭和二十二年年度の豫算には計上をいたしてございませぬ。私は當面の責任者でございませぬけれども鐵道總局の同じ局長といたしましてはつきり申し上げます。

○高橋(英)委員 伊能長官がはつきり計上してあると言つたのですが、それはつきり言明されてもいいのですか。その責任をおとりになりませんか。大事な委員會において、伊能長官が二枚舌を—虚偽の事實を説明されたとも思へませぬし、田中次官に對してすらもさういふつきり言明されておるのであるから、これはあなたがこの問題にどのくらい深い關係をもたれておるか、しれないけれども、先ほど私が申し上げたごとく、私とこの問題については實に重大な關係があります。私はこの問題の推移については、おそろく運輸省の大多數人のよりも深い知識をもつておると思ふのでございませぬ。それははつきり言えるのであります。

すか。それとも伊能長官がそういうことを言つておるとすれば、一應調査されて御答辯を他の機會に譲るといふうなお考えにはなりませんかどうですか。

○正木委員長 委員長から高橋君に御相談申し上げますが、擔當局長の伊能君も出席されないのでありますから、この件に對しては海運總局を除いたほかは、伊能長官の出席の後にあなたの質問をする。また政府からの答辯も留保する。こういうことにして議事を進めたいと思ひますが、いかがですか。

○高橋(英)委員 それではそういうふうにしていただきます。以上。

○正木委員長 他に質疑がございませぬか。—今お尋ねの通りです。海運總局からは局長の秋山政府委員が来ておられますから、質問があるならばそれにしていただいて、他は伊能長官が出席されてから質問をしてもいいと思ひます。伊能長官はその筋との關係で向うに呼ばれておるので、出席できないやうです。

○正木委員長 委員長の御説明が、本前項に關連して九州、四國間の國營連絡航路の實地調査の必要のため、本委員會より委員を派遣したいという意見がありますが、委員長一任に御異議ありませんか。

○正木委員長 (異議なしと呼ぶ者あり) 以上であります。派遣の期日は一週間、派遣地名は愛媛縣八幡濱市、宇和島市及び附近町村、大分縣大分市、別府市とすることに御異議ありませんか。

(異議なしと呼ぶ者あり) 承認申請の件は決定いたしました。

○正木委員長 では續いて日程二八、文書表番號第一一九號、古江、佐多間、大根占、田代間及び鹿屋、大根占間に國營自動車運輸開始の請願、前田郁君紹介、日程第二九、岩川、古江間國營バス運輸開始の請願、文書表番號第一四五號、日程三〇、鹿屋、岸島間國營バス運輸開始の請願、前田郁君紹介、文書表番號第一四七號を一括議題といたします。紹介議員前田郁君の説明を求めます。

○前田(郁)委員 この請願を御説明申し上げます前に、日本の最南端でございませぬ九州の鐵道豫定線の地圖をごらんを願ひたいと思ひます。古江という所

○前田(信)政府委員 この請願を御説明申し上げます前に、日本の最南端でございませぬ九州の鐵道豫定線の地圖をごらんを願ひたいと思ひます。古江という所

○前田(信)政府委員 高橋さんにもう一遍申し上げたいのであります。二十二年年度に上つておらないことは確かでありませぬが、ただおそろく伊能長官はほかの一般の豫算、先ほどお話がございましたように、復興その他あいた施設の船をまわせば、新たに項目をあげなくともやり得るという見解のもとに、言われたのだと想像いたしたのであります。

○前田(信)政府委員 高橋さんにもう一遍申し上げたいのであります。二十二年年度に上つておらないことは確かでありませぬが、ただおそろく伊能長官はほかの一般の豫算、先ほどお話がございましたように、復興その他あいた施設の船をまわせば、新たに項目をあげなくともやり得るという見解のもとに、言われたのだと想像いたしたのであります。

○前田(信)政府委員 高橋さんにもう一遍申し上げたいのであります。二十二年年度に上つておらないことは確かでありませぬが、ただおそろく伊能長官はほかの一般の豫算、先ほどお話がございましたように、復興その他あいた施設の船をまわせば、新たに項目をあげなくともやり得るという見解のもとに、言われたのだと想像いたしたのであります。

から川北附近、ここは鐵道豫定線になつておる所でありませう。それから國營自動車線でありませう。鹿兒島の右側の大隅の所をこらん願います。鹿兒島は薩摩、大隅にわかれておりますが、この線は各線とも大隅を貫通する線でございます。そのうちに古江、佐多、大根占、田代及び鹿屋、大根占の間の國營自動車となつておりますが、ここは鐵道豫定線になつておりました。將來鐵道を敷いていただかなければならぬ地點になつております。それから鹿屋でございますが、鹿屋は戦争中皆さん御承知の通り、日本の最南端の基地といたしまして、日本一の大きな航空基地でございます。そこを中心として走つておる路線であります。私が、私どもはこの大隅の線に對しましては、昭和十六年以來熱心な懇願を續けてまいつておるのであります。御承知の通りこの大隅という所は非常な寶庫でございます。九州のうちでも一番物産に恵まれた所でありませう。その面積は香川縣一縣よりも大きいのであります。そして人口も五十萬以上であります。そして土地の廣いこと、田地の多いこと、それから南には千古茶鉞を入れます。大森林がございまして、木材とか、木炭は非常に多いのであります。しよらうのうのごときは、日本のほとんど八割を占めておるといふ産地であります。それから牛馬とか豚とか、そういうものも非常に多いのでございまして、皆様がよく言われるところの神戸牛と言いますか、あの神戸牛といふものはほとんどこの大隅で生れたところの牛がございましておるのであります。それから熱帯地特有の植物が多いのでございまして、藥草なども非常に

栽培されておるといふわけでありませう。ただいま政府におきましては、この大隅開發を日本の國土計畫の一つといたしまして、大きく取上げておるような次第であります。なお鹿兒島縣におきまして、こういうような大きな大隅、熊毛總合開發計畫という白書を出しまして、縣廳の中に一課をば置かしまして、縣民の總意によつて大隅、熊毛の總合開發をいたしまして、わが國の國土開發の一助にしたいといつて、非常な努力をしておるような次第であります。しかるにこの大隅地方は、由來大きな政治家がいなかつたといふ點もございまして、薩摩の方に比べてますと、すべての方面におきまして開發が遅れておるのであります。そのため鐵道もわずかに大隅の方は、ごらんのとおり志布志から古江まで行つておるといふわけでありまして、ほかに省營バスが古江から単人まで通じておりますが、これも中間で道路が壊れてほとんど通えない。鹿兒島市に行くにも鐵道を利用することはほとんどできな。これを都城の方にまわりますと、一日がかりで行かなければならぬ。こういうわけで、非常に不便な土地になつておるわけでありませう。そして今日、木炭のごときは年々七、八萬俵の需貨をば見ておるといふわけでありまして、まことに燃料不足の今日において、私どもはもつたないことであると考えておるような次第であります。なおこの臨海で岸長となつておりますが、この内之浦は九州一の漁場と言われるような所でありまして、ここでとれた水産物を大阪方面にどしどし送つておるような状態でありまして、とにかくこの九州におけるところ

の未開發の寶庫というようなことになつております。ただいま北海道を非常な開發問題として國家が取上げておりますが、北海道の方は、冬になりますと雪のためにいろ／＼なことができませんが、ここは非常に山水の利に恵まれました。一年中いろ／＼なことができませんので、ただいま入植する人も非常に多いといふようなわけでございます。なお最近國土計畫の一端としてダムをこしらへまして、そして一萬町歩の水田もつくろうといふことをば政府で計畫をいたしておるといふような次第でありまして、とにかく政府各方面において、大隅開發といふことは認められておるわけでありませう。ところがこの交通状態は非常に不便でございます。鹿屋から大根占を通過して佐多まで行く線でございますが、以前には一日に五、六回行つておつたのであります。それがたいまは大根占と鹿屋だけが三回通りまして、ほかは一往復しかないといふような状態でありまして、この住民はほとんど毎日、中心地であるところの地方事務所のある鹿屋あるいは鹿兒島といふような所にも行かれないといふような状態になつておるのであります。そしてその運ぶところの車といふものと、今は三州バスをやつておりますが、ほとんど車の體をなしませんで、ガラスなんか一枚もはいつておりません。そしてガタ／＼で壊れたり、また一往復でございますから、ほとんど大根を詰めておるようなふうにやります。人道の問題からいつても、ほとんど忍ぶことができないような状態にまでこの問題が進んでおるのであります。それで實は今年の四月にもこ

の大隅地方の方々が陳情に参りました。そのときは、八十有餘になるところの先輩が、實に大隅の交通地獄の状態を見るに忍びぬから、たとえ死んでもよいから私を上京させてくれと言つて上京して、運輸省において陳情されましたが、そのときは列席の人が皆もらい泣きしたといふぐらい、非常な交通地獄にあるのであります。それでこの計畫は運輸省の方でも御同情くださいまして、すでに二十二年度の計畫にはいつていた所でありませう。ところがちよと山野線というのが薩摩の方にございまして、その線をやるために、この線は遂に二十二年度に實行を見るのができなかつたのであります。私どもはまことに遺憾に感じておるのであります。それで先般來大臣に對しまして、省營自動車はどうかという目標をもつてあなた方はおやりになるつもりかと尋ねましたところが、とにかく鐵道の先行線であるとか、開發線であるとかいふものは、どうしてもわれわれはやるつもりであるといふことをば運輸大臣も答へられたのであります。これは鐵道の豫定線の先行線であるとか、あるいは開發線と大臣の言われるその趣旨にまつたく合致した線でございます。まず日本にたくさん線がございまして、そのうちでも最も力を入れてもらわなければならぬ線ではないかと考えておるような次第であります。そこで運輸省の方でも、業界の民間の方が、現在の營業者がこれに反對するといふ悪いといふようなお話をございまして、大隅の有力家の方々が三州自動車の重役とたびたび會見されました結果、遂に會社側も民間の輿論に對しまして十分にこれを

納得いたしました。そして、先般は重役會議にかけられてこれをば認めるというところまでなつており、いわゆる民間業者の方の了解も十分につきまして、近く文書をもつて運輸省の方にも會社側から提出するところまで行つておりました。また民間側との軋轢もこれで解消いたしましたわけでございます。それから、どうかこの線は日本の最南端にあり、しかも日本の寶庫を開くためにどうしても交通機關が先行しなければならぬわけでございます。そういう意味からいたしまして、ぜひとも委員各位の御同情と御了解を得まして、御採擇の上、一日も早くこの線が實現されるようにお願いしたいと思つておるのであります。なおこれは門司鐵道局におきまして、二十二年度にこの線をやらなかつたことは本省のミスだといふことを、門司鐵道局の有力な方も言つておられるくらいでございます。ですから、どうかこの恵まれな大隅のために、皆様の御同情をお願いしたいと思つておる次第であります。

○正木委員長 本請願に對する政府側の意見を聴取いたします。川村説明員。

○川村説明員 たいがい詳細に話がありまして、この現在の營業自動車

の現状と、私どもの調べましたところを簡単に答へ申し上げます。まずバスでございますが、バスの業者は三州自動車株式會社、代表者は池田亭、資本金は四十九萬圓、保有車輛は三十二輛、實動車輛が三十輛、免許路線は六百四十四キロ、現在の運行路線は三百七十一キロになつております。現在の運行回数は、鹿屋・内之浦間、四十六キロ三分、一往復、大根占、佐多間、二

十四キロ、一往復、大根占、田代間、十
キロ、一往復、鹿屋、大根占間、二百三
十三キロ、一往復、鹿屋、古江間、十キ
ロ、一往復となつておりまして、運賃
はそれ／＼キロ當り八十五錢になつて
おります。次に貨物自動車線の點であ
りますが、事業種別は區域事業になつて
おります。營業範圍は縣下一圓にな
つております。業者の名前は鹿屋貨物
自動車株式會社、代表者上松晉吉、資
本金四十八萬六千圓、保有車輛、普
通四十五輛、貨物車輛二十九輛にな
つております。鐵道の未成線との關係
は、高須、川北附近の鐵道線に該當し
ておるものがありますが、そのほかは
豫定線には該當しておりません。地方
鐵道軌道との關係もございません。た
だいまお話がありましたように、本路
線については第九十議會において請願
が採擇されておりますので、門司の鐵
道局において、調査いたしましたのであ
りますが、お話のように非常に該當路線
としての重要性をもつておりまして、
一應實現をはかるべく計畫いたしましたの
でありますけれども、わが國の目下の
情勢から豫算、資材において極端に制
限を受けており、本年度はもちろん、
來年度においても急速に全路線の實現
をはかることは非常に困難だろと思
います。豫算、資材の許す限度内に
おいて部分的にでも實現をはかり、御
要望に副いたいと考えます。

○前田(都)委員 たいま川村部長
からお話を承りまことに感謝いたす
次第であります。これだけの路線を一
通にやつていただくことはなか／＼今
日の財政上困難なこととも考えます
が、なるべく財政の許す限りにおい
て、少しでもよけいにやつていただ

ように地元住民を代表してさらにお願
い申し上げる次第でございます。
○正木委員長 他に質疑はございま
せんか。――なければ他の請願につきま
しては、紹介議員がお見えになつてお
りませんので、後日に延期いたしま
す。

○正木委員長 この機會に前田委員か
ら東京、鹿兒島間急行列車連絡の件に
ついて、質問を要求されておりますの
で、許します。前田都君。

○前田(都)委員 戦争前には東京から
鹿兒島まで直通の急行列車が出ており、
私どもも非常に便利を感じていたわけ
であります。ところが戦争中にいつの
間にかこれが廢止となり、しまいに
急行もほとんどないという状態であ
りました。最近ようやく東京、門司
間、門司、鹿兒島間の急行が出てい
る次第であります。ところが最近鹿兒島
の縣會、鹿兒島市會並びに熊本あるい
は長崎の縣會、あるいは市會から陳情が
参りまして、どうしても東京から鹿兒
島までの急行を連絡してもらいたい
という陳情であります。なお最近鹿兒島
の方から、ぜひとも一日も早くこれ
やつていただきたいと、やかましく言
つてきているわけでありまして、また門
司で連結いたしますが、門司驛へ急行
が着きますと、旅客を全部驛前に出し
て一時間、一時間半もまた驛の外に並
ばせて急行に乗せるといふ状態であ
る。鹿兒島行の列車に乗せるといふなら
まだよいのです。今日は旅行に米とか
その他旅行用の品物を背負つていかな
ければならない。そういう人が雨の降
るときに門司で降るされて、また驛外

から鹿兒島行に乗るといふことは非
常に困ることでありまして、どうい
うわけであらうことをやつてい
るのか、この際お聞きしたいと思
います。それでは、紹介議員が
お見えになつて、特急で東京から
直行で行けるということになり
ますれば、非常にいいわけであ
る。ございますが、もしどうしても
この際まだできないこととござ
いますらば、あの驛のやり方をば、
もう少し改善してもらふことは
できないか。こういうことも實
は考えているような次第であ
ります。第一にはひとつ東京から
鹿兒島までの直行をやつてい
たきたい。こういうことをお願い
したいのであります。どうかひとつ
これに對する政府側の同情のある
御返答をお願いしたいと思います。

○石井説明員 戦前鹿兒島まで通つて
おりました急行が通らなくなつたため
に、九州の、殊に南九州の方々にたい
へん御迷惑をおかけしていることと存
ずるのでございます。御承知の上
に、ただいまは東海道、山陽線に
急行が二往復、九州の鹿兒島本線に
一往復を辛うじて動かしております
状態でございます。東海道、山陽線の
急行が門司で止まつておりますので、
は、客車の事情等もございまして、
何とかしてこれを博多まで、あるい
はもつと先まで延ばしたい、か
ように考へておりますが、客車の
事情あるいは旅客列車等、全
體の上から申しまして、今日の
配炭その他から見ると、申し
まがら山陽線の急行が門司止り
となり、九州地方に非常な御
迷惑をおかけしていることは十分
承知しておりますので、特に東
海道、山陽

の急行のうち、ごくわずかな車輛だけ
は、進駐軍専用列車の餘裕を利用して、
博多までは直通が通つておるとい
うにやつておるのでございます。しか
しこれも進駐軍の専用列車が博多
までしか参つておりません關係上、
それも少く少く車輛しかできない。か
ようなわけでございまして、た
だいまのような御要望に十分副
い得ないことを残念に思つてお
るわけでありまして、しかしこれ
を先ほど申し上げましたよう
に、現在の急行の本數から見ま
しても、客車の運用から見ま
しても、また旅客列車等から見
ましても相當困難な問題だろ
うと思つております。九州
間の旅客の便宜のためにも十分
考慮しなければならぬとい
うようなこともあるかと思
います。直通列車をそのま
ま延ばすというわけにも技
術的にはまいらない點も相
當でございます。途中驛の
作業等につきましても困難
な點があるように思つてお
るのでございます。しかしな
がら、ただいま御指摘の
ありましたような門司驛にお
きまして、扱ひなどにつきま
しては、できるだけのさ
まよな御不便のないよう
にいたすのが至當ではない
かと私どもも考へてござ
いまして、はなはだ注
意をいたして、御指摘の
點はよく現地に確
かめまして、改善すべ
きものは改善して、直
通の旅客の方々の御
便宜に少しでも資する
ようになつてい
たいと思つてござ
います。

○前田(都)委員 大體わかりました
が、もう少しと結局客車が足らぬとい
うことか、何か技術的關係でござ
いませぬか、私どもよく聞かれるの
でございませぬか、そこをもう少し
わかるように御説明願えないでし
ょうか。
○石井(説)明員 たいま川村部長
からお話を承りまことに感謝いた
す次第でございます。これだけの
路線を一通にやつていただくこと
はなか／＼今日の財政上困難なこ
とも考へますが、なるべく財政の
許す限りにおいて、少しでもよけ
いにやつていただ

○正木委員長 それでは本日はこの程
度にして散會したいと思います。か
がでございませぬか。
〔異議なしと呼ぶ者あり〕
○正木委員長 それでは他の請願は後
日に延期いたしましたので、本日はこれ
で散會いたします。
午後三時三十一分散會

○前田(都)委員 たいま川村部長
からお話を承りまことに感謝いた
す次第でございます。これだけの
路線を一通にやつていただくこと
はなか／＼今日の財政上困難なこ
とも考へますが、なるべく財政の
許す限りにおいて、少しでもよけ
いにやつていただ

○正木委員長 この機會に前田委員か
ら東京、鹿兒島間急行列車連絡の件に
ついて、質問を要求されておりますの
で、許します。前田都君。

○前田(都)委員 戦争前には東京から
鹿兒島まで直通の急行列車が出ており、
私どもも非常に便利を感じていたわけ
であります。ところが戦争中にいつの
間にかこれが廢止となり、しまいに
急行もほとんどないという状態であ
りました。最近ようやく東京、門司
間、門司、鹿兒島間の急行が出てい
る次第であります。ところが最近鹿兒島
の縣會、鹿兒島市會並びに熊本あるい
は長崎の縣會、あるいは市會から陳情が
参りまして、どうしても東京から鹿兒
島までの急行を連絡してもらいたい
という陳情であります。なお最近鹿兒島
の方から、ぜひとも一日も早くこれ
やつていただきたいと、やかましく言
つてきているわけでありまして、また門
司で連結いたしますが、門司驛へ急行
が着きますと、旅客を全部驛前に出し
て一時間、一時間半もまた驛の外に並
ばせて急行に乗せるといふ状態であ
る。鹿兒島行の列車に乗せるといふなら
まだよいのです。今日は旅行に米とか
その他旅行用の品物を背負つていかな
ければならない。そういう人が雨の降
るときに門司で降るされて、また驛外

第一類第十四号

運輸及び交通委員会議録

第三十四号

昭和二十二年十一月八日

二九六

昭和二十三年一月四日印刷

昭和二十三年一月五日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局